

総務文教常任委員会

所管事務調査資料

(令和 8 年 2 月 2 日)

(事務調査)

④ 総合型地域文化・スポーツクラブ創設と部活動の地域展開について

生涯学習課社会教育グループ[°]

総合型地域文化・スポーツクラブ創設と部活動地域展開について

1 経緯

(1) 総合型地域文化・スポーツクラブの創設

本町では、令和5年度に設置された「地域クラブ検討会議」において、部活動地域展開について議論がなされてきた。地域展開を実現するために、まずは地域側の受入れ体制を整える必要があることから、厚真町におけるスポーツ・文化活動環境の改善や将来展望等についての議論が重ねられてきた。

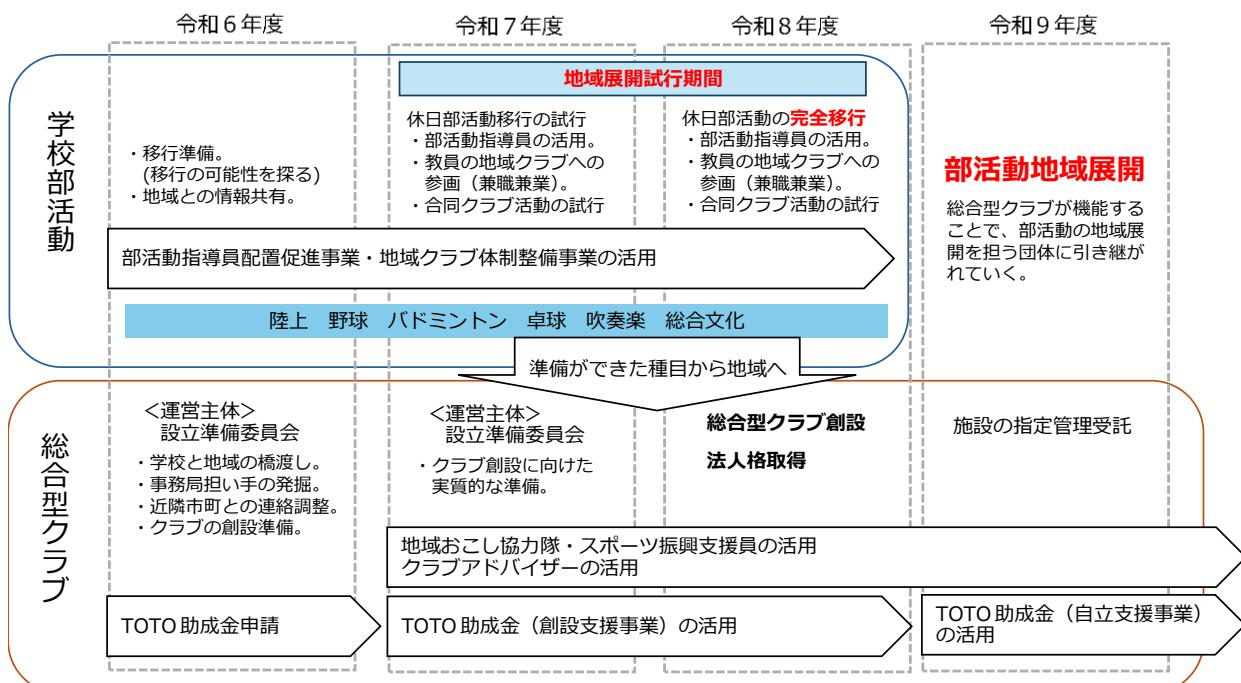
部活動地域展開を、地域スポーツ・文化活動環境の再構築のきっかけとして捉え、単純に部活動を地域にスライドさせることにとどまらず、町民全員が気軽にスポーツ・文化活動に親しめる環境を創ることを目的として、総合型地域文化・スポーツクラブを創設することとなった。

令和7年度に総合型地域文化・スポーツクラブ設立準備委員会が立ち上がり、TOTO助成金を活用しながら様々なプレ事業を実施し、令和8年度のクラブ創設に向けて準備を進めている。

(2) 部活動の地域展開

教育委員会では、令和6年度に「部活動地域展開と総合型クラブ創設のスケジュール」(下図)を示した。令和6~8年の3年間をかけて、準備が整った種目から地域へ移管しながら、同時並行で総合型クラブの創設を行うことで、中学生の活動の場が途切れることなく令和9年度の部活動地域展開完全実施を迎えるよう計画している。

部活動地域展開と総合型クラブ創設のスケジュール



2 これまでの取り組みと現状

(1) 総合型地域文化・スポーツクラブ設立準備委員会の取り組み

①設立準備委員会の概要

構成員 7人（スポーツ関係有識者、文化関係有識者、地域おこし、教委職員等）

準備委員会を毎月1回程度開催（令和8年2月2日現在11回）

町民のニーズ調査やプレ事業を通して、本町に合ったクラブの在り方を検討するなど、クラブ設立に向けた準備を行っている。

②令和7年度の取り組み内容

4月15日 第1回設立準備委員会

4月23日 部活動地域展開研修会（札幌市）

5月18日 総合型地域SC連絡協議会第1回情報交換会（札幌市）

5月28日 第2回設立準備委員会

5月29日 アビースポーツクラブ情報交換会（安平町）

6月12日 第3回設立準備委員会

6月13～15日 アシスタントマネージャー講習会（井上）

6月26日 走り方教室（15名参加）

6月28日 田舎祭り出店（アンケート調査）

7月14日 しわひめスポーツクラブ視察（宮城県）

7月16日 第4回設立準備委員会

7月21日 MDCチャレンジャーズ及び北海道チャレンジマラソン視察（千歳市）

7月23日 けん玉×DJ教室（20名参加）

7月28～29日 アシスタントマネージャー講習会（川嶋）

8月27日 夏休み送迎サポート（7日間46人利用）

9月 2日 第5回設立準備委員会

9月 7日 京極町2時間トレイルリレーマラソン視察（京極町）

9月16日 第6回設立準備委員会

9月22日 バスケットボール教室（27名参加）

10月14日 部活動地域展開パンフレット（全戸配布）

10月14日 第7回設立準備委員会

10月20日 テントサウナ教室（12名参加）

11月 1日 厚真町いこいの森リレーマラソン2025（中止）

11月 1日 厚真町文化祭ウィーク出店

11月11日 町民ディスカッションに向けた研修会兼第8回設立準備委員会

11月17日 町民ディスカッション（福祉センター青年室、55名参加）

11月22日 苛小牧チャレンジマラソン2025（苫小牧市、99名参加）

11月25日 卓球教室（17名参加）

- 12月 9日 第9回設立準備委員会
 12月23日 第10回設立準備委員会
 12月29日 ボードゲーム教室（23名参加）
 1月13日 バレーボールDAY（31名参加）
 1月15日 第11回設立準備委員会

③得られた成果

総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会では、月1回の定期的な設立準備委員会を重ね、研修や先進地視察を通じて運営体制や事業内容の検討を進めてきた。同時に、様々な種目を体験できる文化・スポーツ体験教室を継続的に実施し、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加を得ることができた。これらの取組を通じ、競技力向上を目指す層だけでなく、健康づくりや交流、体験を目的とした参加が多く見られるなど、「多世代・多種目・多志向」という総合型クラブの理念が地域に浸透しつつあることを実感している。町民ディスカッションにおいても、町民の様々な立場からの意見を聞くことができ、設立に向けた方針が定まった。今後は、これまでの実績と町民の声を生かし、誰もが自分に合った関わり方を選べる持続可能な総合型地域スポーツクラブの設立を目指していく。

※総合型地域文化・スポーツクラブ設立の概要については別紙、資料1を参照

（2）部活動地域展開に関する取り組み

①令和7年4月時点の各校の部活動設置状況

厚真中学校	厚南中学校
バドミントン部	バドミントン部
吹奏楽部	卓球部 総合文化部

②各部活の地域展開状況

【バドミントン部】（両校）

令和7年度から、厚真中と厚南中両校で合同チームを作り、平日は部活動として、休日は地域クラブとして活動。中体連は地域クラブとして出場した。令和8年度からは、平日を含めて地域クラブとしての活動となる見込み。現状、指導者は教職員が主軸であり、今後は教職員が兼職兼業で地域クラブの指導者として指導にあたることを想定している。

【卓球部】（厚南中）

令和7年度中に、地域人材が部活の指導にあたる部活動指導員を任用。令和8年度からは、バドミントンと同様に地域クラブとして活動する見込み。教職員も兼職兼業により地域クラブの指導者として指導にあたることを想定している。

【吹奏楽部（厚真中）・総合文化部（厚南中）】

厚真中吹奏楽部については、地域の指導者が見つからない状況であり、地域展開が難しい状況である。厚南中総合文化部については、町の行事参加を主活動とするなど、今後の活動形態を模索中であるが、令和8年度以降は地域クラブとしての活動となる見込み。

3 これからの取り組み

（1）総合型地域文化・スポーツクラブの運営開始と活動の充実

令和8年4月からクラブの運営をスタートさせ、だれもが気軽に文化・スポーツ活動に親しめる環境を構築するとともに、部活動の受け皿として機能させる。地域展開を進めることで中学生の選択肢が広がり、文化・スポーツ活動への親しみやすさが増すようクラブの活動内容を充実させていく。

（2）地域クラブ活動の認定制度の構築

地域クラブ活動の中でも、中体連参加を目指すクラブについては、市町村教育委員会の認定が必要となる。令和7年度中に認定地域クラブ制度を構築し、令和8年度以降、地域クラブが町の補助を受けながらスムーズに中体連に参加できるようにする。

（3）地域クラブ指導員の配置拡充

令和7年度から運用を開始した地域クラブ指導員制度（令和7年度陸上競技で2名任用）を他種目に拡充させ、地域クラブ指導者の確保に努める。

（4）地域クラブ活動活性化事業の展開

令和8年度に新規予算要求予定の事業で、放課後の学校開放及び中学校間の送迎バス運行を行い中学生が自主的に活動を行える環境と活動場所までの移動手段を確保する。概要については別紙資料2のとおり。

4 課題

- ・移動手段及び指導者の確保
- ・地域クラブ活動参加者の費用負担増
- ・地域クラブ運営に関わる財源の確保